

## 令和4年度 計算書類に対する注記（法人全体）

### 1 継続事業の前提に関する注記

### 2 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ・満期保有目的の債券等は、償却原価法に基づく定額法により評価します。
- ・上記以外の有価証券で評価のあるものは、会計年度末における時価をもって評価します。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

- ・有形及び無形原価償却資産は、定額法により処理しています。

#### (3) リース資産の会計処理方法

次のリース資産については、賃貸借取引に係わる方法に準じて会計処理をしています。

- ・リース契約1件あたりのリース料総額が300万円以下の取引
- ・リース期間が1以内のファイナンス・リース取引
- ・所有権非移転ファイナンス・リース取引

#### (4) 引当金の計上基準

- ・退職給付引当金は、該当なし
- ・賞与引当金は、職員に支給する賞与のうち、当該会計年度の負担に属する額を見積り計上しています。

### 3 重要な会計方式の変更

### 4 法人で採用する退職給付制度

- ・法人で採用する退職給付制度については、独立行政法人福祉医療機構の実施する社会福祉施設職員等退職共済制度及び北九州市社会福祉協議会の社会福祉施設職員等退職手当共済制度へ加入しています。

### 5 法人が作成する計算書類並びに拠点区分及びサービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりである。

- (1) 法人全体の計算書類様式（第一号第一様式、第二号第一様式、第三号第一様式）
- (2) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表（第一号第三様式、第二号第三様式、第三号第三様式）
- (3) 各拠点区分におけるサービス区分の内容
  - ア 本部会計拠点区分（社会福祉事業）
  - イ 清風園会計拠点区分（社会福祉事業）
    - 養護老人ホーム清風園サービス区分

- ウ 清松園会計拠点区分（社会福祉事業）
  - 特別養護老人ホーム清松園サービス区分
  - 特別養護老人ホーム清松園デイサービスセンターサービス区分
- エ 門司ヶ関学園会計拠点区分（社会福祉事業）
  - 児童養護施設門司ヶ関学園サービス区分
- オ 古城保育園会計拠点区分（社会福祉事業）
  - 古城保育園サービス区分
- カ 藤松保育園会計拠点区分（社会福祉事業）
  - 藤松保育園サービス区分
- キ NINARU ふじまつ保育園会計拠点区分（社会福祉事業）
  - NINARU ふじまつ保育園サービス区分

(4)各拠点区分は、社会福祉事業のみであるため、別紙2及び別紙4は省略します。

## 6 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりです。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	44,618,982	0	0	44,618,982
建物	902,162,849	314,691,170	37,480,033	1,179,373,086
合計	946,781,831	314,691,170	37,480,033	1,223,992,968

## 7 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

- ・該当なし

## 8 担保に供している資産

担保の供されている資産は、以下のとおりです。

建物（基本財産）古城保育園 250,421,281円

建物（基本財産）藤松保育園 266,302,050円

担保している債務の種類及び金額は、以下のとおりです。

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）古城保育園 49,558,000円

設備資金借入金（1年以内返済予定額を含む）藤松保育園 56,028,000円

9 有形固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、以下の通りです。

(単位：円)

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
土地（基本財産）	44,618,982	0	44,618,982
建物（基本財産）	1,970,614,386	791,240,400	1,179,373,986
建物	76,026,710	41,645,824	34,380,886
構築物	20,216,508	13,345,114	6,871,394
車輛運搬具	32,241,124	27,866,709	4,374,415
器具及び備品	190,013,346	153,007,816	37,575,530
有形リース資産	10,504,080	10,504,080	0
合計	2,344,235,136	1,037,609,943	1,307,195,193

10 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要)

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	59,062,634		59,062,634
未収金	763,340		763,340
未収補助金	17,449,487		17,449,487
合計	77,275,461		77,275,461

11 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、以下の通りです。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価格	時価	評価損益
福岡ひびき信用金庫出資証券 20 口	10,000	10,000	
平成 26 年度第 9 回札幌市公募公債	10,287,500	10,000,000	
平成 30 年度第 1 回北九州市公募公債	10,000,000	10,000,000	
第 1 回北九州市サビリティ公募公債 5 年	10,000,000	10,000,000	
第 2 回北九州市サビリティ公募公債 5 年	10,000,000	10,000,000	
令和元年第 1 回北九州市公募公債	5,000,000	5,000,000	
第 156 回利付国庫債券 20 年	10,001,027	10,001,027	
ソフトバンク(株)第 51 回無担保社債	10,000,000	10,000,000	
合計	65,298,527	65,011,027	

※評価損益については、僅差のため重要性の原則に従い未記載としました。

12 関連当事者との取引の内容

該当なし

13 重要な偶発債務

該当なし

14 重要な後発事象

該当なし

15 合併又は事業の譲渡行われた場合にはその旨及び要素

該当なし

16 その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状況を明らかにするために必要な事項

該当なし